

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面・体制整備

利用定員と活動室のスペースは適切ではあるが年々車いすも大きくなり狭く感じる。人員配置上は問題ないが男性支援が足りず排せつなど困難な場合があったり休む職員がいると少ない。看護師配置を手厚くし最重度の児童受け入れを行うことができている。冷暖房はよく効いて、バリアフリーである。椅子が少なく、高さが合う机がない。子供がおもちゃを選びやすくするために環境を整える必要がある。個別室も必要時使用できるように清潔を保っている。

B業務改善

外部評価の認識がなかったなどという声も上がっているが、個々の状況に応じて振り返りや話し合いが行われ、上司も気にかけてくれる印象で話しやすい環境。保護者、職員で情報共有がしっかりできている。話し合いもその都度出来ていて把握ができている。職員も雰囲気良く研修に行きやすい。

C適切な支援の提供

計画書を作成の際にはアセスメント表を使用しケアプランを立てているが職員の理解度はまだ低い。定期的に面談を行いアセスメントは出来ているとの評価も聞かれた。面談の中でニーズを把握し計画書や専門職ケアに繋げている。活動は職種関係なく意見を言いプログラムを立案している。支援プログラムを公表しているが職員の理解は低い。月1の会議で周知することで共通の認識もとで計画書を作成していると思う。

D関係機関や保護者との連携

サービス担当者会議には担当者が出ている。カンファを行う児童は児発管と担当看護師が出席している。学校、こまちとは密に情報共有出来ている。相談員がモニタリングで来た際には情報共有出来ている。地域の方との交流は時間的な問題もあり回数は少ないが交流が出来ている。送迎時に健康面などを伝えている。イベントに保護者を呼び情報共有の場に行っている。保護者会は年1で行われている。

E保護者への説明責任等

休みの加算などの話は行われている。毎月の活動はブログや月間予定表。インスタなどで知らせている。計画書の支援内容は面談時にも伝えながら説明。計画書は5領域のため説明を行っていた。

F非常時等の対応

緊急時などのマニュアルはある。BLSなども取り組んでいるが不審者などの訓練が行われていない。医師の指示書のもと動けている。

保護者による評価

A環境・体制整備

全ての保護者の方の評価は高い。子供の状態に応じて必要なスペースを確保している。職員の配置、看護師の人数が多いことで医療的ケアをしっかりと行ってくれている。

B適切な支援の提供

支援プログラム、地域の子供たちとの交流についてはわからないが2割ほどだった。活動プログラムは色々なことを経験出来て楽しい活動と高評価。

C保護者への説明

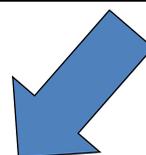
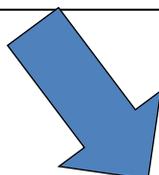
毎月の活動、イベントを楽しみにしてくれている。SNSなどを確認してくれている保護者が多くブログで活動の写真が載っているの日常の様子が知れて嬉しいとの声もある。また連絡帳や送迎時に口頭でのやり取りができてリアルタイムに共有できている。年に数回きょうだいも姉の過ごしの場のプログラムに参加させて頂き楽しませてもらっている。送迎が一緒の家族と顔を合わせる機会を作って頂きより安心して過ごせている。

D非常時の対応

非常事態の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているかについての満足度は年々高い評価になっている。プログラムの中に訓練の旨、明記されていてしっかり行っていると思う。

E満足度

通所を楽しみにしているかについては評価は高く感謝の言葉が書かれていることが多かった。週終わりだが疲れすぎることなく利用できて満足。週1の利用だが充実した活動提供でありがたい。学校の先生から直接の引継ぎも何うことが出来て安心しています。大満足ですとの声も上がっていた。



事業所内での分析

【共通点】

昨年度に引き続き活動に関しての評価は高くたんぽぽでしか経験できない活動の提供が行えている。イベント活動では家族、職員、子供たちと行いそこで保護者同士の交流ともなった。またインスタなど SNS を発信するようになり家族も確認し活動の様子などが伝わりやすくなった。看護師配置が手厚くより最重度の児童受け入れにも繋がっている。

【相違点】

避難訓練に関しては年々保護者の方の評価は高くなってきているが出来ていない訓練などもあり職員の評価が下がっている。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

様々な活動提供をするため支援だけではなく、看護師も一緒に活動を作り上げている。また知識、技術向上のため各職員が研修に行ける環境で研修報告をミーティングで報告している。研修で学んだことを全職員で共有し支援に繋げることが出来ている。

事業所の改善点

玩具や絵本が子供たちに分かりやすいように環境の整備改善を行う。毎年の課題ではあるが、非常時の対応にマニュアル、防犯マニュアルの見直し、職員の避難訓練や児童を含む避難訓練を行う活動の中で取り組み保護者会などで説明を行っていく。

事業所の改善への取り組み

非常時の対応については保護者会などで活動報告を行っていきたい。
今年度学校の訓練の状況が分からなかったため学校の担当者とも話をして進めていく。
地域交流を今以上に増やし地域の方々に知ってもらい地域交流を沢山していきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

毎年恒例の季節のイベントに関して今年度は外出を多くした関係で冬のみ保護者、きょうだい児と一緒にイベントに参加。イベントを保護者達も楽しみという声が多く上がっている。保護者会も開催し、想像以上の保護者が参加してくださった。横浜マラソンに家族、職員とみんなで参加し家族、職員との交流にもなり子供たちにもいい経験になった。毎年参加できるイベントがこれから増え色々な経験をご家族とも一緒に行っていきたいと思っている。